

大規模災害発生時における相互協力に関する協定書

熊本市（以下「市」という。）と西日本高速道路株式会社（以下「西日本高速」という。）とは大規模災害発生時における相互協力について、「熊本市と西日本高速道路株式会社との包括的相互協力協定」第3条に基づき、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、大規模災害発生時における災害対策の実施に当たり、相互協力に必要な事項を定め、もって災害対策の適正かつ円滑な遂行を図ることを目的とする。

（協力の内容）

第2条 大規模災害発生時の相互協力は、次の各号に掲げる内容とし、協力を要請された市又は西日本高速は、関係機関と協議のうえ、自らが行う業務に支障のない範囲において要請に応じるものとする。

- (1) 西日本高速が管理する熊本市内に所在するサービスエリア・パーキングエリア等の施設（以下「休憩施設等」という。）の防災拠点としての活用
- (2) 休憩施設等の緊急開口部を活用した緊急車両の通行
- (3) 災害対策等に係る資機材及び物資の提供
- (4) 災害情報等の共有
- (5) 公共土木施設の土工部、橋梁部及びトンネル部等の大規模構造物の異常、変形及び損傷等の調査及び復旧に対する技術支援
- (6) 相互の道路機能の共有
- (7) その他必要と認められる事項

（協力要請）

第3条 協力を要請する場合、市又は西日本高速は、第2条に定める協力内容を明らかにして口頭又は電話等で協力を要請し、後日速やかに文書を相手方へ送付するものとする。

（費用負担）

第4条 前条に基づく協力を要する費用は、原則として協力を要請した市又は西日本高速が負担するものとする。

（情報連絡体制）

第5条 市及び西日本高速は、大規模災害発生時の協力を円滑に実施するために、担当部局の名称及び連絡先を相互に交換するものとする。

（防災訓練等への相互参加）

第6条 市及び西日本高速は、平常時より本協定に基づく大規模災害発生時の災害対策を円滑に実施するため、相互に企画・立案する防災訓練等へ積極的に参画するものとする。

（有効期間）

第7条 本協定の有効期間は、平成24年10月16日から平成25年3月31日までとする。ただし、期間満了の1か月前までに、市又は西日本高速のいずれかが書面をもって協定終了の意思表示をしないときは、期間満了日の翌日からさらに1年間有効とし、以後もまた同様とする。

（その他）

第8条 本協定に定めのない事項又はこの協定に定める事項に関し疑義等が生じた場合は、市と西日本高速で協議して定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、市、西日本高速それぞれ署名の上、各自その1通を保有するものとする。

平成24年10月16日

熊本県熊本市中央区手取本町1番1号
熊本市
代表者 熊本市長

（幸 山 政 史）

福岡県福岡市中央区天神1丁目4番2号
西日本高速道路株式会社 九州支社
支社長

（本 間 清 輔）